

歯科研究会

歯科訪問診療の実際と 保険請求上の留意点



講師
大水 継圭先生
【パール歯科 院長/福岡】

■講師のプロフィール

平成3年 長崎大学歯学部卒業
平成3～5年 熊本県八代市勤務
平成5～13年 長崎県西彼杵郡琴海町開業
(現在の長崎市琴海戸根町)
平成14～20年 福岡市内の訪問歯科に勤務
(大分市別府市の関連病院に外向あり)
平成20年 福岡市中央区にパール歯科開業
平成26年 医療法人化 現在に至る

福岡県歯科保険医協会副会長
福岡市歯科医師会公衆衛生委員会前委員
パーキンソン病友の会賛助会員
認知症の人と家族の会賛助会員
福岡難病連賛助会員
ホスピス緩和ケアネットワーク福岡会員
こうれい研(特定非営利活動法人高齢者快適生活つくり研究会)理事
福岡市介護保険事業所協議会会員

講師より一言

訪問歯科は患者さんや家族に喜ばれるとてもやりがいのある仕事です。しかしながら、訪問診療を行っていない先生は最初の一步を踏み出すのが難しいようです。

私は大学に入学した時に父の友人から(その方は後縦靭帯骨化症で寝たきりでした)「歯医者になったらうちに往診してくれ」と頼まれたこともあり、最初から訪問診療をするつもりでいましたが、設備や環境など条件が整っていないところでの診療に抵抗がある先生もいらっしゃるようです。

私も診療しながら「訪問診療は野戦病院だ」と思うことがあります。料理に例えて申し訳ないですが、外来診療(院内診療)はキッチンでの調理、訪問診療は屋外での調理(バーベキューなど)と考えます。シェフは条件の整った場所で美味しい料理を作りますが、条件の悪いバーベキューなどでは主婦が作った料理の方がシェフの料理より美味しかったりします。「主婦がシェフに勝つ」のです。

補綴の大家が作った義歯よりも訪問診療のベテラン先生が作った義歯の方がぴったり合って咬みやすかったりすることもあるのです。

今回の講演では、最初の一步の踏み出し方から継続の仕方、そして保険請求の仕方や留意点について28年4月改定もふまえながらお話ししたいと思います。

日時

10月20日(木) 19:30~

会場

アバンセ 4F 第1研修室

佐賀市天神3丁目2-11 TEL0952-26-0011

参加対象

会員の歯科医師/スタッフ

※未入会の先生は、入会手続きを済ませてからご参加ください

会員参加費
無料

主催 **佐賀県保険医協会**

E-mail: hoken-i@star.saganet.ne.jp

☎(0952)29-1933

FAX 23-5218

■FAX参加申込書

2016.10.20(木)

医療機関名

FAX(0952) 23-5218

会員名

HP

歯科研究会

参加人数

**歯科訪問診療の実際と
保険請求上の留意点**

御住所

※定員になり次第締め切ります。

名

TEL() -